

より自然な日本語教育を

新カリキュラムで再出発

サンレアンドロで開講されていたイーストベイ日本語教室が今月から、カストロバレーに移転、カリキュラムも一新し、再スタートを切った。

イーストベイ日本語教室

同校は茂呂節枝さんが3年前に設立。国語の授業を中心に、擬態語、擬声語、慣用句などに力を入れた学習法で、日本語ならではの言い回しや表現力を重視した教育を続けてきた。しかし、現地校と日本語学校の両立の難しさに加え、教科書に沿った従来の教育では、生徒たちの日本語に対する興味が薄れてしまうと実感。保護者からも同様の意見があり、あらためてカリキュラムとスケジュールを見直すことになった。

新しいプログラムで

は、生徒たちのゴールを6年後に定め、国語の教科書から6年間で習得すべき語彙(こい)を抜粋

それらの語彙を日常生活の中で使うよう保護者にも協力を求め、言葉の意をより自然に学び取ることを目指す。

「子供たちの宿題に少しでも負担がかからないように」と、クラスも従来の火曜、木曜日開講から火曜、金曜日に変更。

茂呂さんは「校風も変え、独自のカリキュラムで新しい日本語教育を提供したい」と語り、「今後1年間は保護者との信頼関係を深めながら、ユニ

クな学校づくりの基盤を固めていきたい」と意気込みを見せている。

同校では1〜4年生の生徒を募集している。また、夏のサマースクールは一般からの生徒も参加できる。

詳細問い合わせは ☎(510) 695-4326、Eメール ajic@nihongo.info、またはウェブサイト www.nihongo.info まで。

(亀田珠紀)